

第5学年国語科学習指導案

1 単元名 「物語の魅力を『いちおしシート』で推薦しよう」

～登場人物の相互関係や心情、場面の描写をとらえ、交流を通して自分の考えを広げたり深めたりする～

教材名 「大造じいさんとがん」(東京書籍 国語五年)

2 単元の目標

- ・複数の本を比べて読むことを通して、自分の考えを明確にしながら物語の魅力を推薦する。
(国語への関心・意欲・態度)
- ・登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、自分の考えをまとめることができる。
(読むこと エ)
- ・物語を読んで考えたことを交流し、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。
(読むこと オ)
- ・物語の魅力を推薦することを通して、語感や言葉の使い方に対する感覚などについて意識して読むことができる。
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(カ))

3 単元を貫く言語活動とその特徴

本単元では、「物語の魅力を『いちおしシート』で推薦する」という言語活動を、単元を貫いて位置付けた。「いちおしシート」とは、物語で一番推薦したい場面や登場人物の魅力などを抜き出し、それらに関する自分の考えを一枚のシートにまとめたものである。

「いちおしシート」では、①「一番おすすめの場面」、②「登場人物の魅力」、③「他の物語と比べた感想」、④「あらすじ」という項目を設け、それぞれの内容についてまとめていく。この「いちおしシート」で推薦するという言語活動では、登場人物の関係や心情、場面に着目して何度も本を読み返しながら、自分の考えをまとめていく力が必要となる。また、並行読書(単元の学習中に教科書教材に関連する図書を読むこと)をした本の中から一冊選んで推薦することは、より主体的に読みを進めることにつながり、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。と考える。

したがって、「物語の魅力を『いちおしシート』で推薦する」という言語活動は、「登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること」(C読むこと (1)エ)、「本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること」(C読むこと (1)オ)を実現するのにふさわしい言語活動であると考えた。

4 単元について

○ 単元構成について

本教材は、場面の移り変わりや物語の山場などに、大造じいさんの行動を細かく描写する場面が見られるとともに、その他の動物の行動描写や自然描写においても優れた作品だといえる。

また、本単元の学習では、動物と人間との関わりを描いた関連図書を複数用意し、比べながら読み進めることとする。

第一次では、教師が作成した既習教材「ごんぎつね」の「いちおしシート」モデルを示し、「物語の魅力を紹介し合う」という単元のゴールを具体的にイメージさせるとともに学習の見通しをもたせる。さらに、「大造じいさんとがん」のように動物と人間との関わりが描かれた関連図書を集め、その並行読書を進めることも伝える。

第二次では、教科書教材「大造じいさんとがん」を読み進めながら、「いちおしシート」で物語の魅力を紹介する学習を行う。また、並行読書でもこの学習を生かし、物語の魅力を見つけながら読むことを繰り返す。

第三次では、並行読書をしてきた本の中からおすすめの一冊を選び、「大造じいさんとがん」と比べながら「いちおしシート」に自分の読みをまとめ、推薦する活動を行う。

○ 指導について

・教師モデルの提示

既習教材「ごんぎつね」で教師自身が「いちおしシート」のモデルを示し、それを基に物語の一番おすすめの場面を「いちおしシート」にまとめ、それを推薦するという学習の見通しをもたせる。

・並行読書

教科書教材に関連する図書を並行して読むことをとおして、読みを広げたり深めたりできるとともに、推薦する一冊を自ら選ぶことで主体的に読みを進めることができる考える。関連図書については、教材文「大造じいさんとがん」と同様に、動物と人間との関わりが描かれたものを選定する。そうすることで、情景や心情を読み取る観点など、「大造じいさんとがん」で学習した内容を、自分が選んだいちおしの場面がある本の読みを生かしやすいと考える。

・ワークシートの工夫

思考力・判断力・表現力等を養うための手立てとしてワークシートを用いる。ワークシートは、一枚で、登場人物や情景描写に対する読みや自分の思いの変化など、思考の流れ全体を俯瞰することができるものを用いる。さらに、ワークシートに書いた考えを、積極的に意見交流する場を設ける。「いちおしシート」の「登場人物の魅力」と「いちおしの場面」の項目について考えをまとめた後にペアで意見交流を行い、お互いの感じ方や考え方に深まりがもてるようにする。

5 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> 複数の本を比べて読むことを通して、自分の考えを明確にしながら物語の魅力を紹介しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の行動の様子や会話、心情などの叙述を基に、自分の考えを「いちおしシート」にまとめている。(エ) 本や文章を読んで考えたことを推薦し合い、自分の考えを広げたり深めたりしている。(オ) 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の適切さや美しさを捉え、推薦するために必要な言葉を選んで読んでいる。(イ(カ))

6 単元の指導計画（全10時間）

次	時	学習活動	指導上の留意点	評価規準〔 〕と評価方法（ ）
第一 次	1 ・ 2	①既習教材「ごんぎつね」を基にした教師モデルを通して、本単元の学習課題を確認し、学習の見通しをもつ。 ・「いちおしシート」モデルを基に、まとめる項目について確かめる。 ②推薦したい一番おすすめの物語を選ぶために、関連図書の並行読書を行うことを知る。	○「いちおしシート」による推薦の仕方をモデルとして示すことで、児童が学習の見通しをもてるように支援する。 ○「いちおしシート」に書く項目（①一番おすすめの場面②登場人物の魅力③物語と比べて読むと④あらすじ）を捉えさせる。 ○関連図書を紹介するとともに1冊を読み聞かせし、並行読書への意欲を高める。	[関] 読み取った物語のおすすめの場面についてまとめ、「いちおしシート」で推薦する活動に興味をもっている。（発言内容に基づいて評価する。）
	3 ・ 4 ・ 5 ・ 6 ・ 7	③登場人物の魅力や、一番おすすめの場面を考えながら「大造じいさんとがん」を通読し、あらすじをまとめる。 ※第4時～第6時の最後10分間を並行読書に充てる。	○心情が大きく変化したところを中心に、出来事をとらえさせる。 ○心がひかれた言葉や文章をワークシートに書き出すよう指導する。	[言イ(カ)] 登場人物の行動の様子や会話、情景などの表現に着目し、心情との関連を考えながら、「いちおしシート」にまとめている。 （書き出した文章と読み取った登場人物の心情との関わりについて、「いちおしシート」の記述を基に評価する。）
第二 次		④登場人物の魅力について考えをまとめ、ペア学習で意見を交流し合う。 ・ペア学習後、「いちおしシート」の「登場人物の魅力」の項目についてまとめる。 ・並行読書で、物語の登場人物の魅力について、読みを深める。	○ワークシートやペア学習を通して、登場人物の行動の様子や会話と、それを読んで感じたことが整理しやすいようにする。 ○推薦する言葉や、感想を伝える言葉など、「いちおしシート」にまとめる際に、文章表現のヒントになるものを提示する。	[読エ] 大造じいさんと残雪の行動の様子や会話などの叙述を基に、登場人物の魅力について考えをまとめている。（「いちおしシート」の記述内容及び、ペア学習での発言内容を基に評価する。）

第二次		<p>⑤登場人物の行動の様子や会話で、一番おすすめの場面について考えをまとめ、ペアで意見交流をする。 【本時】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペア学習後、「いちおしシート」の「いちおしの場面」の項目についてまとめる。 ・並行読書で、いちおしの場面について、読みを深める。 <p>⑥作者についてまとめる。</p> <p>⑦「いちおしシート」を用いて、グループで「大造じいさんとガン」の一番おすすめの場面や登場人物の魅力などを推薦し合い、意見交流を行う。</p>	<p>○自分が選んだ物語に立ち返って読む際には付箋を活用し、「いちおしシート」づくりに使えそうな箇所に貼らせたり、自分の気付きや思いをメモさせたりして、第三次の学習活動につなげやすいよう助言する。</p> <p>○登場人物の魅力や一番おすすめの場面について、登場人物の行動の様子や会話、相互関係を基に、選んだ具体的な理由を書かせる。</p> <p>○椋鳩十について書かれた資料を読ませて、作者についてまとめさせる。</p> <p>○推薦をし合った後、質問や感想などの交流をし、自分が選んだ物語の「いちおしシート」づくりに生かせるようにする。</p> <p>○友達の「いちおしシート」の良い点や改善点などを色分けした付箋に書くようにさせる。</p>	<p>[読エ] 登場人物の行動の様子や会話などの叙述を基に、推薦したい場面について考えをまとめている。(ワークシートの記述内容及び、ペア学習での発言内容を基に評価する。)</p> <p>[読オ] 根拠を明確にして推薦したり、「いちおしシート」の良い点や改善点などを付箋に書いたりして、自分の考えを広げたり深めたりしている。(発表内容や友達の「いちおしシート」に対する質問や感想などの発言、付箋の記述内容を基に評価する。)</p>
第三次	8 ・ 9 ・ 10	<p>⑧⑨並行読書をしてきた本から、一番推薦したいと選んだ物語で「いちおしシート」をつくる。</p>	<p>○第二次の学習を想起させる。</p> <p>○登場人物の行動の様子や会話、相互関係を基に、選んだ具体的な理由を書くようにさせる。</p>	<p>[読エ] 登場人物の魅力や、一番おすすめの場面について、登場人物の行動の様子や会話、情景描写などの叙述を基に、「大造じいさんとガン」と比べながら自分の考えをまとめている。(「いちおしシート」に記述内容を基に評価する。)</p>

	<p>⑩「いちおしシート」で一番おすすめの場面を推薦する。</p>	<p>○友達「いちおしシート」の内容で良い点や工夫点などを伝え合う。</p> <p>○「いちおしシート」を読み、読みたかった物語の「いちおしシート」にシールを貼る。</p>	<p>[関] 自分の考えを明確にしなが、ら、「いちおしシート」で物語の魅力を推薦しようとしている。(発言内容を基に評価する。)</p>
--	-----------------------------------	--	---

7 本時の指導 (5/10)

(1) 本時の目標

大造じいさんと残雪の行動の様子や会話を基に、一番おすすめの場面について考えをまとめることができる。

(2) 本時の学習

時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法 ・準備物
0	<p>1 学習の見通しをもつ</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習計画表を用いて学習内容を確認する。 本時の学習目標を確認する。 	<p>○登場人物の行動の様子や会話で心をひかれた部分が、一番おすすめの場面につながることを伝える。</p> <p>○「いちおしシート」のどの部分につながるかを確認させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学習計画表 教師作成の「いちおしシート」モデル
<p>大造じいさんや残雪の行動の様子や会話を基に、一番おすすめの場面を「いちおしシート」にまとめよう。</p>			
5	<p>2 自分の一番おすすめの場面について、ワークシートに考えを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> おすすめの場面に付箋を付けながら音読する。 黒板に掲示されている全文掲示の中で、一番いちおしの場面にシールを貼る。 叙述を基になぜその場面を選んだか根拠を伝える。 ワークシートに自分の考えを書く。 	<p>○叙述を根拠にして、自分の考えをもつように助言する。</p> <p>○根拠を板書し、ポイントごとに色チョークで囲む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 付箋 シール 全文掲示 (物語全体が見通せる場面の一覧)
20	<p>3 ペアで意見を交流し、内容を深める。</p>	<p>○交流で読みが変わったり、考えが深まったりした内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート

		<p>は、赤文字でワークシートに書き加えるよう指示する。</p> <p>○考えが深まったり変わったりした意見を発表させ、板書して全体で共有する。</p>	
2 5	4 ワークシートに考えをまとめ、切り取って「いちおしシート」に貼る。	<p>○ワークシートの中で「いちおしシート」に活用しない部分はノートに貼り、思考の変化が分かるようにさせる。</p>	<p>・ワークシート</p> <p>・「いちおしシート」</p> <p>[読エ] 意見交流を通して、大造じいさんと残雪の行動の様子や会話などの叙述を基に、一番おすすめの場面について考えをまとめている。(ワークシートの記述内容及び、ペア学習や全体学習での発言内容を基に評価する。)</p>
3 5	5 本時の学習を振り返る。	<p>○「いちおしシート」の内容について確認させる。</p>	
3 8	6 並行読書をする。	<p>○一番おすすめの場面に付箋をつけながら、並行読書を進めるよう伝える。</p>	<p>・関連図書</p> <p>・付箋</p>
4 5			